



Google Maps

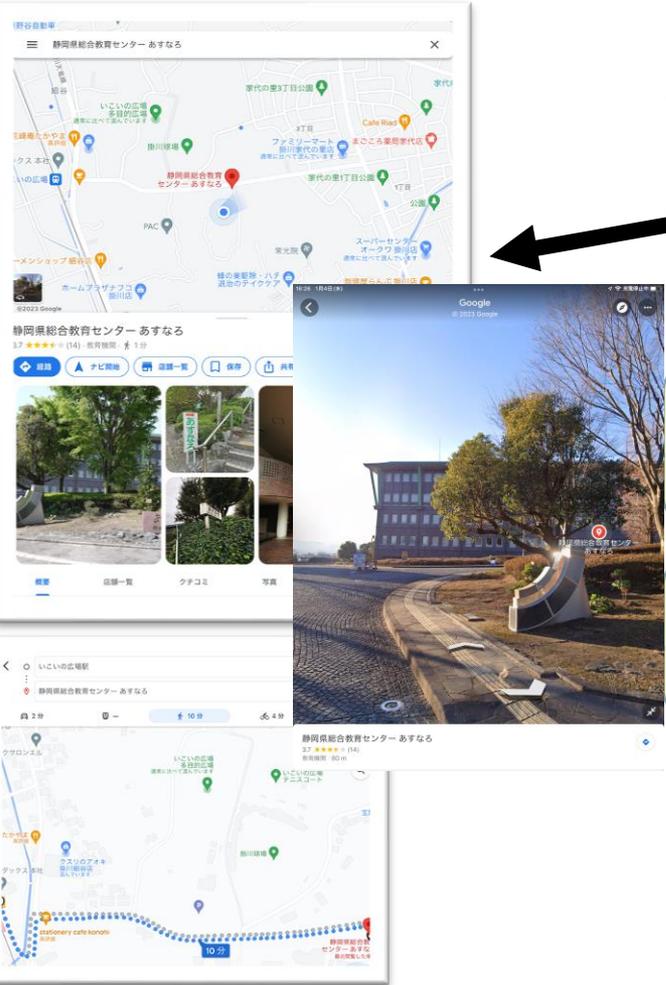
〇〇は、どこにあるのか、どうやって行けばいいか知りたい!



場所を検索するとその場所の画像を見ることができ、目的地のイメージを持ちやすいです。初めてのことに不安のある子どもが、見通しをもって取り組むことができます。

音声入力で検索できるので、文字入力が困難な子どもも調べることができます。

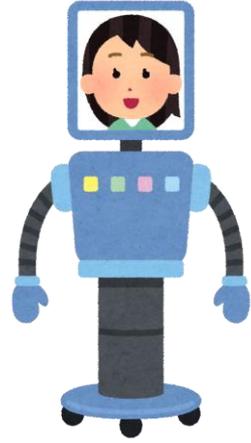
かかる時間や費用を調べて、最適な行き方を選択することができます。





Zoom

いろいろな人とつながりたい!



直接会うことが難しい場合も、オンラインでつながることで様々な人との協働的な学びの機会を作ることができます。

例えば、交流及び共同学習当日に向けてオンラインでやりとりを行うことで、相互理解を促進するだけでなく、情報モラルやオンライン上のコミュニケーションスキルを育むことにつながります。

病気や障害のために、通学して教育を受けることが困難な子どもにも、訪問教育とICTを活用した遠隔教育を組み合わせた指導により学習機会の充実が期待できます。



YouTube

# 自分がやりたいことの方法を知りたい!

料理、工作、実験等の手順、ダンス等の動作など



ホットケーキ 作り方で検索してみよう



写真や手順表で見ても理解が難しい作業工程や身体の動かし方などは、動画で見ることで理解しやすくなる子どももいます。検索ワードの入れ方に慣れ、必要な時に必要な情報を手に入れることができるようになると、卒業後の生活にもつながります。

動画、手順表、教師の手本など、自分で学びを進めるための支援は個の実態や学習内容によって様々です。個の実態に応じて手立てを講じ、個別最適な学びを実現する際にICTの活用が有効です。



2次元コードの読み取り方法を覚えることで、ほしい情報を簡単に手に入れることができるようになります。



カメラ



写真

自分の見た物や経験したことを伝えたい!



伝えたい内容を書き込むこともでき、音声言語で伝えることが困難な子どもの思いを伝えることができます。

写真があると想起しやすく、活動を振り返る際は、複数枚の写真からお気に入りの写真を選んで伝えることができます。



Keynote

プレゼンテーションアプリを使うと、伝えたいことを文や画像を織り交ぜながら分かりやすく表現することができます。書くことに困難さがある子どもも、キーボードや音声入力を使って容易に文字を入力することができ、表現することに力を注ぐことができます。





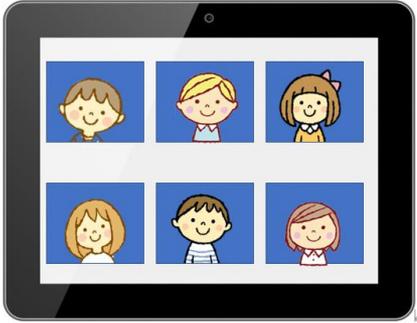
朝の会の司会をしたい!!



司会の子どもが、朝の会の流れに沿ってタッチすることで、会を進めたり、友達の画像に触れて名前を呼んだりすることができます。



Keynoteのプレゼンテーション機能を使って、朝の会のプログラムを作成し、教師が音声を入れておきます。



健康観察は子どもたちの画像にリンクで呼名する音声を貼り付けます。

「Keynote 朝の会」で検索すると、作成方法のサイトがいくつか出てきます。朝の会以外の場面でも活用できそうです。



ぼいすぶっく

自分の力で本をめくりたい!!



ぼいすぶっくは、音声を録音し、再生するアプリです。音声に画像を割り当てていくと、簡単なデジタル本を作ることができます。

「触る」「離す」「スイッチを使う」など、子どものできる動きを設定しておくことで、文字を読むことが難しい子どもも自分のタイミングでページをめくり、聞き進めていくことができます。



上肢の運動に困難さがあり、直接画面に触れることが難しい子どもも、スイッチやiPadタッチャー、マイクなどの出入力装置を接続するとわずかな動きや音で操作することができます。



Seeing AI

これって何だろう？ 知りたい！



カメラの前にあるものが何かを音声で説明してくれます。



文字がカメラの前に表示されると瞬時に読み上げてくれます。



商品のバーコードをスキャンして製品名を教えてください。



まわりの風景を音声で説明してくれます。



まわりの明るさを音で教えてください。  
(視覚特別支援学校で使用している感光器と同様の役割)

その他、紙幣の識別、カメラが捉えた色などを音声で説明してくれます。



コソ練カメラ

自分がどんな動きをしているのか  
知りたい!



録画をすると○秒後に自動的に動画が再生されます。画面の前で運動(練習)するだけで、いつでもリプレイ確認ができます。

遅延タイム	録画回数
0:07	
0:08	
0:09	
0:10	1
0:11	2
0:12	3
0:13	4

遅延タイム(○秒後に自動再生)録画回数を設定します。

バーを操作し、気になる場面を見ることもできます。



動画は一時停止をしたり、スロー再生をしたりできます。

保存もできるので、次の授業でも確認ができます。



えにっき



カメラ

楽しかった思い出を記録したい。  
いつでも思い出せるようにしたい。



アプリ「えにっき」で、日記を作成します。  
カレンダーから思い出をキーワード検索  
することができます。

文章は音声入力をすることもでき、作成  
した後は、読み上げ機能を使って思い  
出を振り返ることができます。



端末で撮影した画像を  
そのまま使えます。



文字を読みやすい大き  
さに変えることが簡単  
にできます。



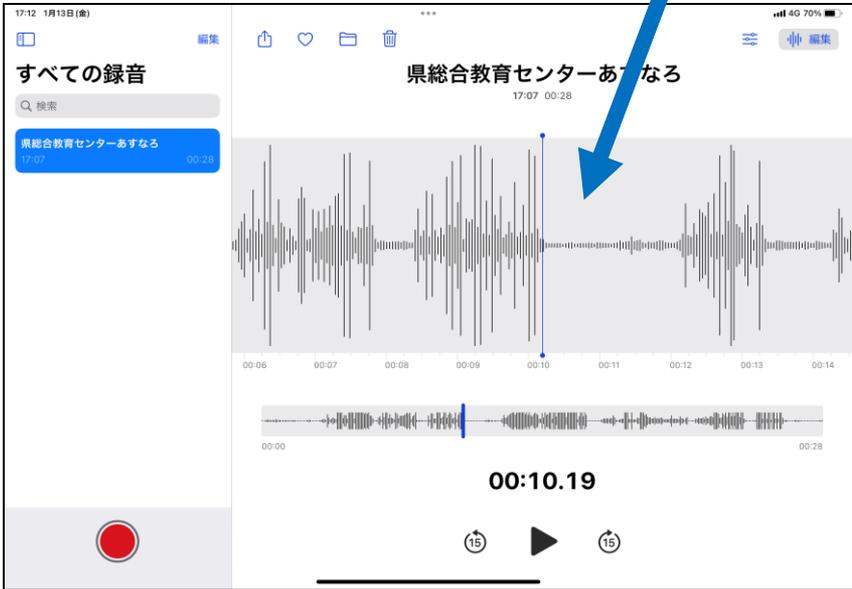


ボイスメモ

思ったことや考えたことを簡単に記録して、  
あとで思い出せるようにしたい。



ボイスメモを使って音声を録音し、再生します。  
いくつかの内容を記録する場合は、録音と録音の間を空けると、  
再生するとき探しやすくなります。



- 日記として使う。
  - 作文したい内容を箇条書きする代わりに使う。
  - 次の活動で、大切なことを確認できるようにメモしておく。
- など、様々な場面で活用できます。





カメラ



写真

どのように作ったか  
伝えたい!



図工や美術等で、制作の過程を動画や写真に撮り、発表し合います。



言葉の表出が難しい子どもも、表し方を工夫したところなどを、動画や写真を使って、伝えることができます。また、表現していたときの感情や気持ち、面白さや楽しさを伝えることができます。

いいね。



こうやって  
作ったよ!

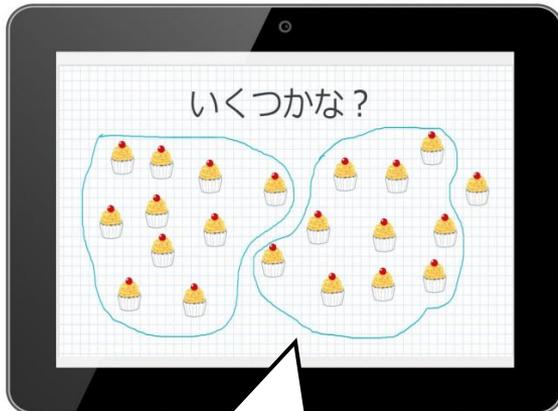


フリーボード

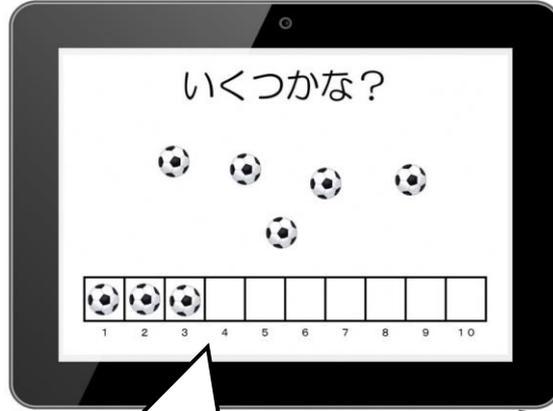
いくつあるのか数えたい!!  
いろいろな数の計算をしたい!!



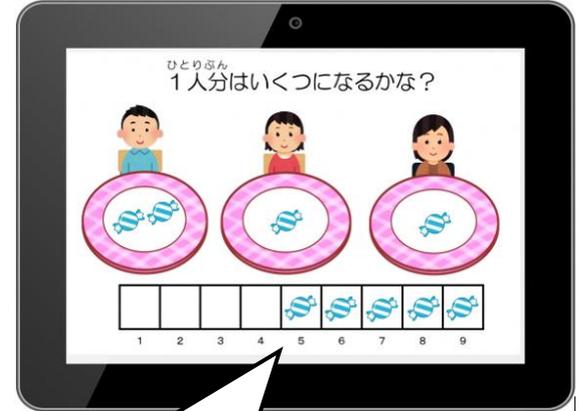
子どもが自分で操作しながら、いろいろな数え方や計算方法を学ぶことができます。



10ずつペンで  
囲んでみよう!



ぼくは、動かして  
並べて数えるよ!



1つずつキャンディー  
を配ってみよう!

- たくさんの物の数を数える学習ができます。
- 背景のシートを作成すれば子どもの好きな物を使って、いろいろな設定（ぜんぶでいくつ?、あわせていくつ?、のこりはいくつ?、ちがいはいくつ?等）で学ぶことができます。
- シートは共有することもできるので集団で学んだり、個別課題で取り組んだりできます。



こえキャッチ

ちょうどいい大きさの声が出せるかな？



端末に向かって声を出すと、声の大きさによってカゴを持った動物たちが出てきます。  
 (小さめの声はネズミ、中くらいの声はネコ、大きめの声はライオン)  
 ランダムに落ちてくる果物やスイーツをキャッチして得点します。

自分の声の大きさを視覚化することができます。



設定+ 他のアプリ

タブレットに表示されている  
文字や文を読み上げてほしいな。



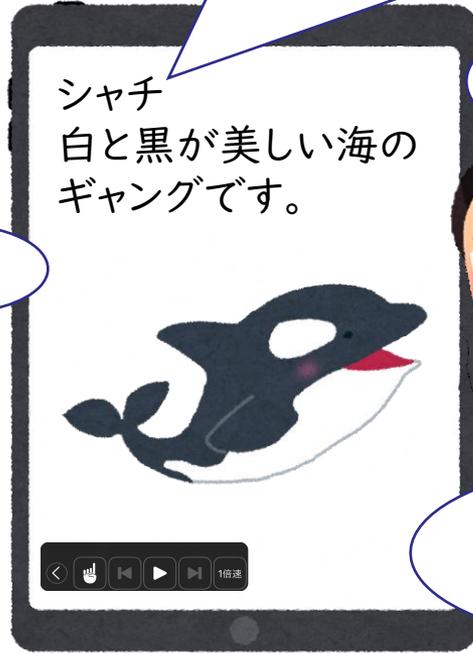
🔊 シャチ しろと くの いろが  
うつくしい うみの ギャングです

設定方法

- ① 設定 → アクセシビリティ  
→ 読み上げコンテンツ
- ② 「画面の読み上げ」をオン
- ③ 「読み上げコントローラ」をオン

使用方法

- ①  をタップ
- ② 指のマーク  をタップ
- ③ 読み上げる部分をタップ



シャチ!

くろ!

しろ!

なんて  
言っていた?

そうだね!  
ここは しろ!  
こっちは くろ!

iPadに備わっている様々なアクセシビリティ機能の一つです。ブラウザなど、他のアプリを使いながら、文字を読み上げることができます。

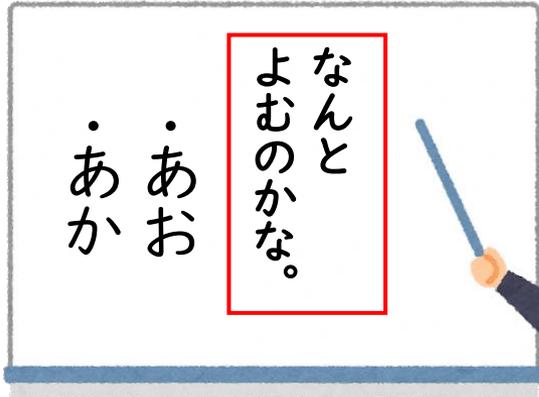


カメラ

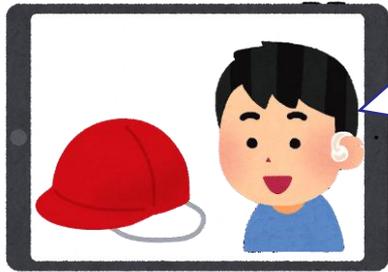


写真

楽しく発音の練習をしたいな。



言葉を読んで発音練習を行いながら、その言葉に関連するものを(ここでは色)を身の回りから探し出し、動画で撮影します。自分の声を聞くことで振り返りつつ、文字と音声と具体物を一致させる体験ができます。



あか!



あお!



じょうずに  
いえたね!

活用場面の例  
【自立活動】  
・発音指導(聴覚障害など)  
【国語】  
・ごじゅうおん など



カメラ

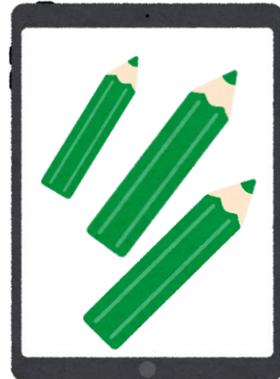


写真

見つけたものを  
みんなに伝えたい!



それぞれが見つけたものを写真に記録し、紹介し合います。  
写真を見せ合うことで、友達の見つけたものが何なのか、分かりやすくなります。



えんぴつが「3」だよ!



見て見て、  
ボールが3!

活用場面の例  
【生活】  
・いろいろな先生をさがそう  
【国語】  
・色をさがそう  
【算数・数学】  
・「3」をさがそう  
・「直角」をさがそう など



カメラ

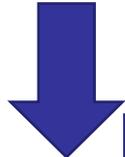


写真

見つけたものを  
みんなに伝えたい!



それぞれが見つけたものを写真に記録し、紹介し合います。  
写真を見せ合うことで、友達の見つけたものが何なのか、分かりやすくなります。



窓枠が「直角」だよ。



この写真すごい！  
ロッカーや掲示板  
直角がたくさん。

活用場面の例  
【生活】  
・いろいろな先生をさがそう  
【国語】  
・色をさがそう  
【算数・数学】  
・「3」をさがそう  
・「直角」をさがそう など



カメラ



写真



Google Maps

自分の町について調べて  
地図を作成したい



一人一台端末を持って町に出かけ、  
見つけたものや気になったものを写  
真に撮り、位置情報を合わせて拡大  
した地図に貼っていくことで、自分た  
ちの町のオリジナル地図を作成する  
ことができます。



フリーボード など

フリーボードなどのアプリ  
を利用して、地図をクラウ  
ド上で共有し、リアルタイムで共同編集をすることも  
可能です。



おおきなはし



ひまわりばたけ



かわいいねこ

こうえんにいたトラねこ  
ひとなつこく、よってきた

写真にコメントを書き込んで、見  
つけたものや気になったものをを  
お互いに紹介し合います。



NHK for School

給食の食材で使われている農産物や魚介類等の成長する様子や、収穫から加工する工程を動画で見ることができ、食育につながります。



YouTube



レンコンがとれるところを見たいなあ



のりが海で育つところを見たいなあ





友達といっしょに 絵を描きたい!



①「ツールバー」から「マークアップ」をタッチします。



②「塗りつぶし」「クレヨン」「水彩筆」などの中から好きなツールを選んだり、好きな色を選んだりします。

水彩筆      ペン      クレヨン



鉛筆

塗りつぶし



いろいろな色  
があります。



友達と絵を描いたり、自由に色や模様を付けたりして、楽しむことができます。

- ペンを持つことが難しい子どもも、指で描くことができます。
- 好きな場所に好きなだけ描き足していくことができます。
- リアルタイム共同編集が可能で、離れた場所にいる友達と、同じシートに絵を描くことができます。



\*共同制作者を招待するには、画面右上の共有  をタップ→[参加依頼された人のみが編集できます]をタップ→ボードのアクセス権などを設定できます。



えこみゆ

やりたいことや 行きたい場所を  
伝えたい!!



好きな活動のイラストカードを  
選択バーから選び、デッキに  
貼り付けておきます。

子どもが選んでタッチすることで、音声  
が再生されるので、自分からやりたいことや  
行きたい場所などを伝えることができます。



写真やイラスト、音声を保存し、オリジナルのカードを作ることができます。

他にもいろいろな種類のVOCAアプリ(コミュニケーションを支援する)  
があるので、子どもが使いやすい仕様のものを選んでいきましょう。



このあと、どうなるのかな?  
あとで見たい!



カメラ  
(タイムラプス)

写真

一定の間隔で撮影した写真をつないで、早送り動画を作成する機能です。  
対象物の前に端末を設置すれば、時間に伴う変化を記録できます。

### タイムラプスの使い方

- ① カメラアプリを起動
- ② 画面を上から下に3回スワイプ
- ③ 画面右側の表示が変わる
- ④ 赤いボタンで撮影開始
- ⑤ 赤いボタンで撮影終了
- ⑥ 動画は写真アプリで見ることができます。



### 活用場面の例

・植物の発芽、開花



・昆虫の ふ化、 蛹化、 羽化



・雲、太陽、月、星の動き



など



ヘルスケア

入学してからどれくらい成長したか知りたい!



「データを追加」から日付と値を入力できます。

ヘルスケア

検索

概要

共有

ヘルスケアのカテゴリ

アクティビティ

バイタル

栄養

呼吸

周期記録

症状

心の健康状態

心臓

身体測定値

睡眠

聴覚

服薬

歩行

その他のデータ

ヘルスケアレコード

診療文書

iPadの標準アプリであるヘルスケアの「身体測定値」の項目から「身長」又は「体重」を選択するとグラフが表示されます。



今までの身長と体重の記録をグラフで確認することができます。

活用場面の例

- 身体測定
- 保健体育
- 家庭での利用 など



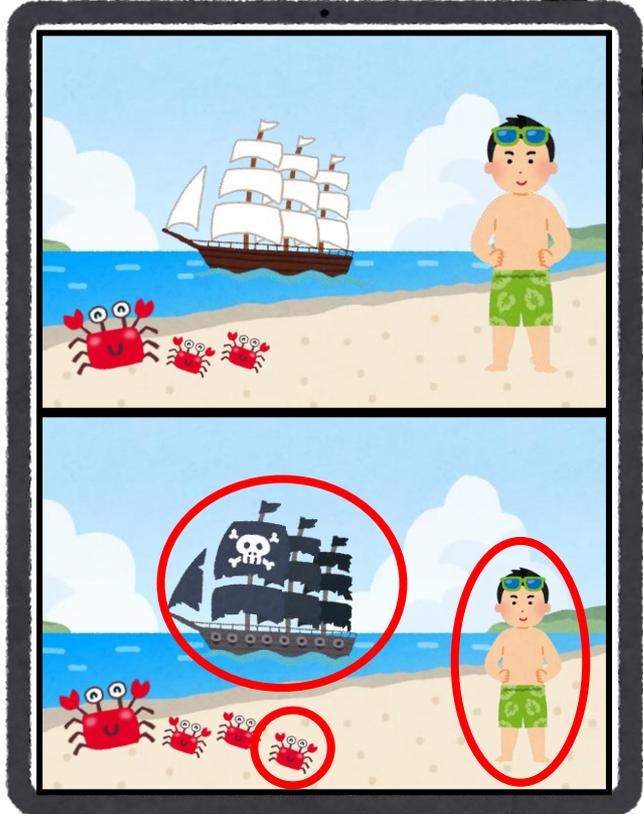


写真  
(iPad)



フォト  
(Chromebook)

まちがいさがしゲームで  
友達と楽しみたい!



**【進め方の例】**

- ① まちがいさがしのイラストを端末に保存する。
- ② 端末の写真アプリの編集機能を利用してイラストの間違いに○を付ける。
- ③ 端末をモニター等につなぎ、見付けた間違いを発表する。
- ④ 友達の発表を聞いて新たなまちがいを探したり、次のイラストに取組んだりする。

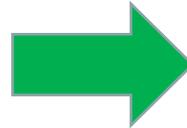
聞き手が分かるように言葉で伝える力や、話を聞く力を育むことができます。色、形、大きさ、数などに着目することができます。国語や算数などの各教科や余暇などで使えます。





絵カード  
タイマー

終わりの時間まで  
どのくらいか知りたい!!



時間になったら、音や文字で教えてくれます。  
タブレット端末に保存された画像や、その場で撮影した写真の中  
から、絵カードを設定することができます。  
また、画面上の鍵マークをタップすると、画面ロックも可能です。

残りの時間を視覚的に分かりやすく表示するとともに、何のための時間かも示す  
ことができます。時間の把握が難しい子どもへの支援として活用できます。  
日常生活の指導など学校生活全般で活用できます。



Pic Collage、コラージュメーカーなどの 画像コラージュアプリ

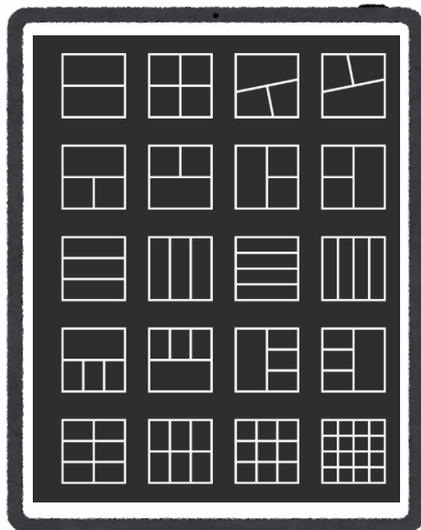
作品・製品のデザイン(素材・色の組合せ)を自分で考えたい!!



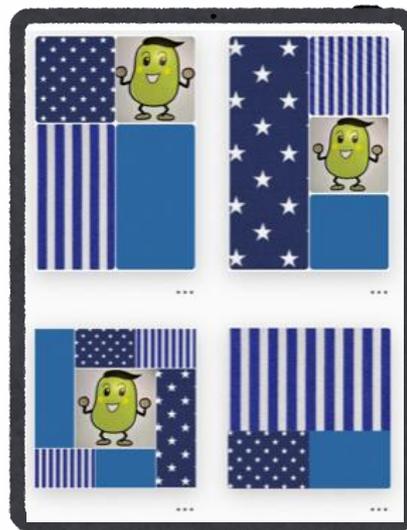
写真 (iPad)



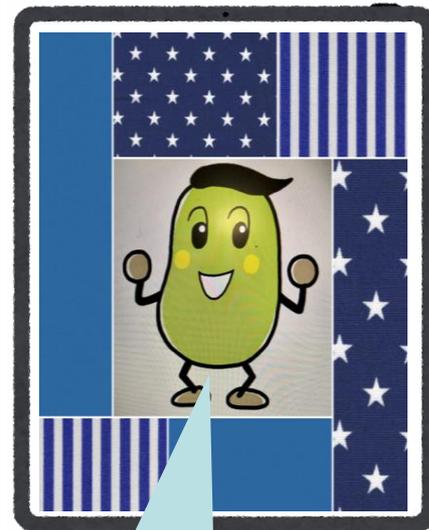
フォト (Chromebook)



いろいろなグリッド(格子)が選択できます。



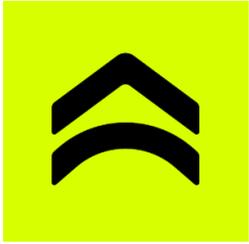
どれがいいかな



真ん中にキャラクターの刺繍を入れたい

素材を撮影して保存しておくことで、たくさんのパターンから、素材や色の組合せ、配置を選んでデザインを決めていくことができます。家庭科、図画工作・美術、作業学習などで活用できます。





Active Arcade  
(ipad / Chromebook)

楽しみながら体を動かしたい



赤いゾーンから逃げよう



キャラクターと同じ  
ポーズを取ろう



様々な体の動きを引き出すのに効果的です。ゲーム感覚で楽しみながら体を動かすことができます。体を動かす数種類のゲームをプレイすることができるため、子どもの得意に合わせて選択することもできます。体育だけでなく、学級活動やお楽しみ会でも活用できそうです。



写真 (iPad)



フォト (Chromebook)

がんばって勉強してきたことを記録しておきたい!



う〜ん…勉強してきたこと、どうしても忘れちゃうんだよね。



ノートやプリントに書くのが苦手だから、見ても思い出せないよ。



そうだ! この勉強をやったんだ!

板書や活動の様子を自分達で撮影し、次時の導入等で活用してみましょう。



電子黒板やスクリーンに映し、友達と共有することもできます。



学習の積み重ねが難しかったり、ノートやプリントに書くのが苦手だったりする児童生徒にとって、前時からのつながりを意識した活動につながる手立てとなります。各教科の学習や学校生活全般で使えます。



GoogleForms 例:あなたはネコ派?イヌ派?

友達の意見や考えを知りたい!



質問 回答 設定

あなたはネコ派?イヌ派?

フォームの説明

好きな動物を全部選んでください

ネコ



イヌ



選択肢を追加 または 「その他」を追加

その理由を教えてください  
例) イヌが好きなのは散歩を一緒にするのが好きだから

長文回答

**【活用の例】**

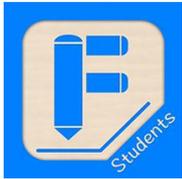
- ・ 児童生徒の考えや意見の集約
- ・ クイズ形式による授業の導入やアイスブレイク
- ・ 運動会、文化祭のスローガンの募集や投票
- ・ 作業製品アンケート など



言語による表現が難しくてイラストを選択することで自分の意見や考えを伝えることができます。



Finger Board Pro (iPad)



Finger Board for Students (iPhone/Android)

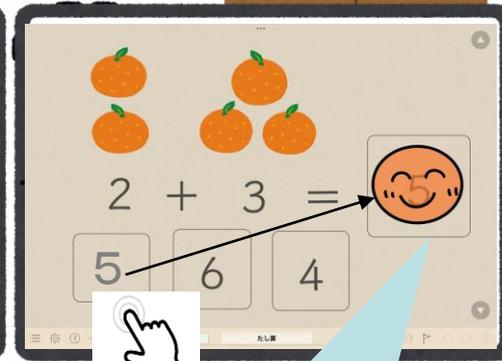
自分のペースで楽しみながら  
学習を進めたい!!



(ピンポン♪)  
やったー 正解!!  
次の問題に進むぞ



まちがえちゃった…  
正しくならびかえよう



5 かな?  
ドラッグして~正解!!

Finger Board Proで  
教材を作成します。

端末にFinger Board  
for Studentsをインス  
トールすれば、送られた  
教材を開いて自習がで  
きます。

国語・算数(数学)をはじめ、様々な教科の学習教材を音声  
やイラスト入りで簡単に作成できます。  
正誤判定ができるので、クイズ形式の問題に自分で取り組  
み、学習を進めていくことができます。  
編集モードの「?(ヘルプ)マーク」からマニュアルを表示す  
れば操作手順の説明があります。YouTubeにも説明動画  
があるので教材作成の参考にできます。



Canva (画像生成AI)  
(iPad / Chromebook)

相手に伝わる正しい文を書けるようになりたい!



Four people are having a meeting.



めがねをかけたお父さんが、男の子とキャッチボールをしている

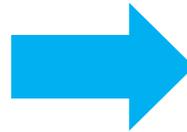
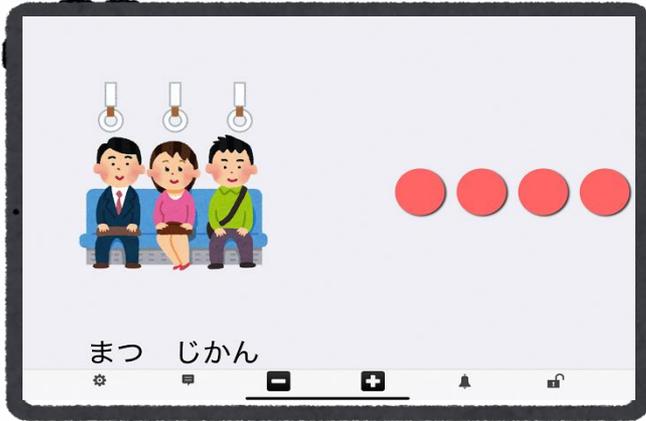


子どもたちは思い描いたイラストを端末に表示するために、助詞の使い方や語順などを工夫しながら正しい文で入力します。日本語だけでなく、英語の学習でも活用することができます。



絵カード  
カウンター

終わりまで  
どのくらい知りたい!!



タブレット端末に保存された画像や、その場で撮影した写真の中から、絵カードを設定することができます。  
画面をタップすると、カウンターを消すことができます。カウント方法は、アップかダウンを選ぶことができます。  
また、画面上の鍵マークをタップすると、画面ロックも可能です。

活動の回数や時計では表せない時間（目的地までのバス停の数等）を視覚的に表示することで、終了までの見通しをもつことができます。  
日常生活の指導など学校生活全般で活用できます。



「やることカード」  
(App store・Google Play)



朝の支度や活動を  
自分でできるようになりたい!

朝のやること

07:00	かおをあらう	できた!
07:10	ぼん	できた!
08:00	がっこう	

TODOリストを作成できるアプリです。100種類の絵カードがあり、音声にも対応していて、読み上げもしてくれます。また、写真をとってオリジナルカードを作成することもできるので、一人一人のニーズに合ったリストを作成できます。



引用:LITALICO HPより

「朝の支度」や「朝の会」など、「日常生活の指導」の中で活用できます。ミッションをクリアしていく感覚で取り組めるため、本人が満足感を得て主体的に活動できます。慣れてきたら、手がかかりやヒントを減らしていくことで、自分でできるようになることを目指します。